

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

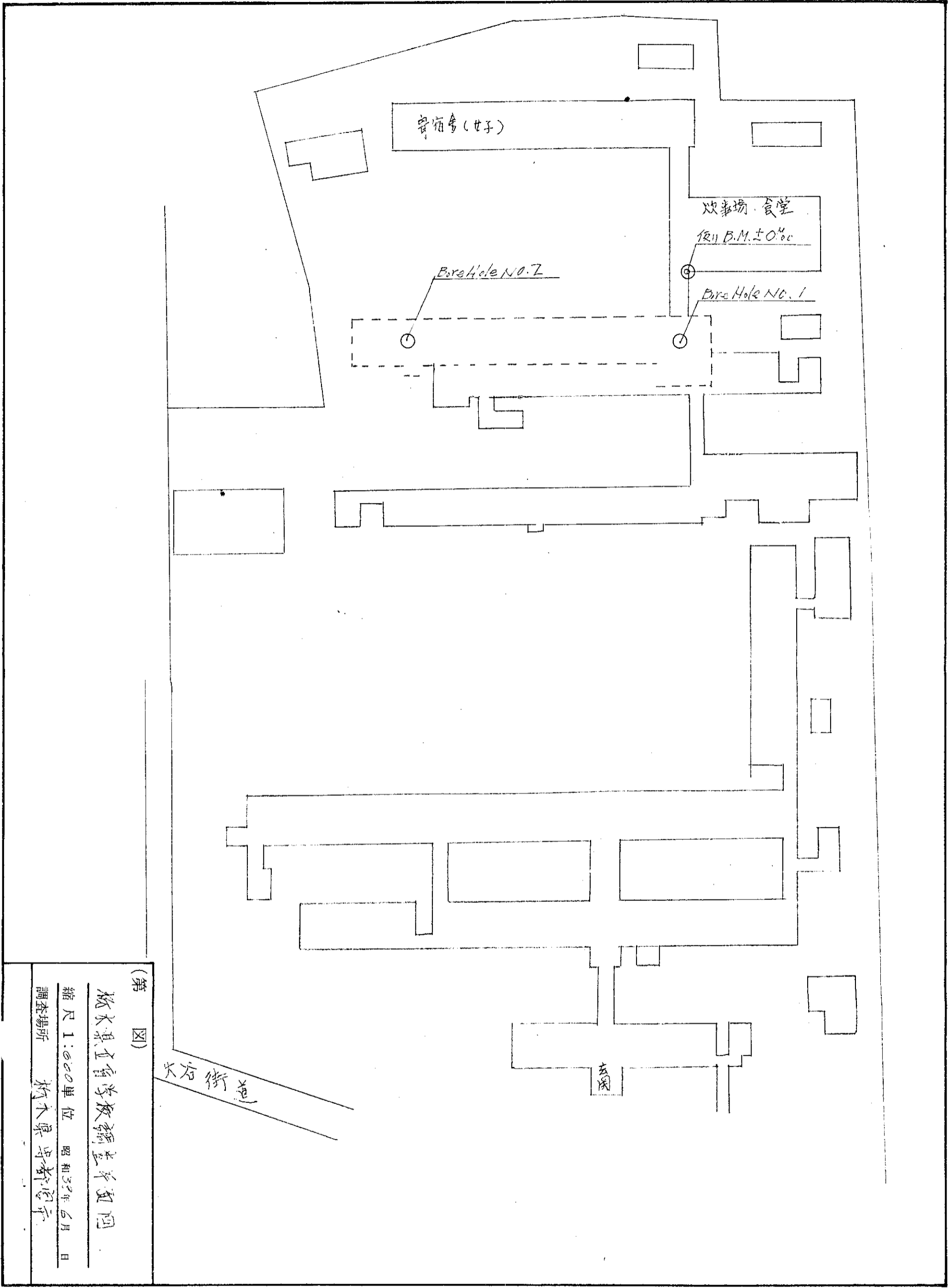
調査地 豊
調査年月日

110.2
昭和 32年 6月 20日 ~ 6月 23日

ボーリング方法
サンプリング方法
地下水位

ロータリー式
標準貫入試験
-3.40

標尺 (m)	深 度 (m)	標 高 (m)	土質記号	試験試料	土質型	色	緊 硬 度	備 考	標準打込試験 (打撃回数 ~ N)				
									10	20	30	40	
0	0.00	-0.23						上部砂層 1.5m 混入土					
1	0.80	-1.03			表土 崩里			表土 崩里	1.15				
2								2.15					
3	2.85	-3.08			粘土 黄褐色	中位		粘土 黄褐色	2.45				
4	3.80	-4.13			軽石 黄	非加		軽石 黄	3.20				
5	4.40	-4.63			砂質土 黄	非加		砂質土 黄	4.15				
6								上部砂層 1.5m 混入土	4.45				
7								最大値 50% 以下	5.10	37/3			N=58/2
8								平均値 10% 以下	5.20				
9								水中位	6.15	50/20			N=58/2
10								若干透水あり	7.10				N=30
11	11.80	-12.03			砂 礫 及 礫			若干粗砂分あり	7.20				
12								下部砂分あり	8.15				N=30
13								合してあり	8.25				
14								若干崩壊あり	9.10				N=30
15								最大値 50% 以下	9.20				
16									10.10				N=30
17									10.20				
18													
19													
20													



(第 四 図)

栃木県立曾根中学校調査平面図

縮尺 1:600 単位 昭和37年 6月 日

調査場所 栃木県宇都宮市